

ゼミ活動報告

「シャープの歴史技術ホールを訪問しました」

鈴木 駿一

7月1日にシャープの歴史・技術ホール天理を訪問しました。初めに歴史ホールを見学させていただきました。とてもきれいなお姉さんガイドしてくれました。シャープの創業時



行きの電車の中
でも準備に余念
がありません。

からの数々の発明品を拝見させていただきました。大きなラジオや電卓、こんなところから技術がスタートしているということを忘れてはいけません。創業者である早川徳次さんは関東大震災ですべての工場と営業所を失うという大変な苦勞をされております。資金繰りに苦勞された創業者の思いが、シャープの自己資本比率の高さに反映されているかも

しれませんね。続いて技術ホールを案内していただきました。技術ホールでは現在シャープのもつ最新の技術を知ることができます。感動の連続でした。特に液晶の技術には目を見張るものがあります。1台約2千万円もする超高画質液晶テレビはまさに絵そのものです。その他にも今ホットな太陽電池の製造過程やプラズマクラスター技術なんかも大変興味深かったです。

さて本日のメインイベントである松本さん、渋田さんとのMTGです。私たちが財務分析を行った際に出た疑問点やこれからの戦略、また現在取り巻かれている環境など知ることが出来ました。価格競争や円高、技術流出など抱える問題は山積みであり、それを当事者からお聞きすることで、本で読むのと違った深刻さを感じる事が出来ました。

シャープは日本の製造業を象徴するような企業であり、世界を技術でリードしています。こういった技術をもった企業がさらに技術を追求できるような環境にするためには何が必要かを考えることが私たちの使命であるのでしょう。

大変お忙しい中、松本さん、渋田さん、本当にありがとうございました。



はじめて天理と
いう駅に降りま
した。雨でした。